

秋晴れの清々しい空が嬉しい季節となりました。

さて、本学の学生相談室は十月から一号館の十一階に移転しました。相談室の立地は、相談室の運営にとって意外と重要な要素です。立地によって、相談に訪れる学生さんのカラーも微妙に変わってくるようです。これまでの学生相談室は、通学時に前を通る別館にありました。ふらっと思いついて立ち寄る学生さんにも便利な立地でした。

今回の相談室は、学生さんが通常授業を受けたり課外活動をしたりする環境からはちよつと離れていて、ふらつと立ち寄る立地ではありません。でも、静かなところが好きな学生さんには、ほつとする環境でしょう。面接室の窓からは都心の風景が一望に見渡せます。開かれた視界はきつと私たちの気持ちも開いてくれるのではないでしょうか。空や街路樹の色に、季節感のある話題が増えそうな予感です。とはいえ、どのような立地でも一長一短があるものです。スタッフは長所を最大限活かし、不足を補う工夫を心がけています。



思えば、学生さんとの相談も似ています。思いどおりにいかないことが多い現実のなかで、手持ちの資源の長所をできるだけ活かして、不足を補う工夫力が育つように、学生さんとの共同作業を続けてゆきます。この共同作業は試行錯誤の連続です。たとえば、「アルバイトをしてみようか」というアイディア。よほど無謀な仕事ではない限り、「やってみたら」と

サポートします。やってみて続かなかつたら、「むずかしいとわかつたね。経験値一つアップしたね」と。一歩踏み出す勇氣があること自体が、喜ぶべきことでしょう。手探りで何かを始めようとするときは、ちよつとだけよい期待の側に肩入れして、サポートした

いものです。

学生相談室も、また新しい一歩を踏み出しました。これからそこでどのような対話がかわされるのでしょうか。スタッフ一同、期待を込めて準備してきました。秋 semester が始まり、ご家庭でも気になる様子がありましたら、どうぞご相談ください。直通電話(03-33265-3760)です。